

要約

太陽光利用型植物工場での、葉物野菜のフリルレタス、ベビーリーフ類の目標所得500万円以上の経営モデルを作成しました。

研究成果の概要

1. 背景・目的

寒冷地に適した植物工場の普及拡大に向けて、低コスト・省力型の栽培技術、経営の成り立つ栽培作物、1年間の収量や需要等を調査・研究し、経営モデルの作成に取り組みました。



〔フリルレタス〕 〔ベビーリーフ (スイスチャード)〕

2. 内容

- フリルレタスでは、経営規模600坪、経営主+パート2人の計3人の労働力で、500万円の所得が得られます。
- ベビーリーフでは、経営規模300坪、経営主+パート2.5人の計3.5人の労働力で500万円の所得が得られます。
- フリルレタスとベビーリーフの経営モデルを作成しました（表参照）。

写真 植物工場で栽培中の葉物野菜

表 フリルレタスとベビーリーフの経営モデル

作目		フリルレタス類	ベビーリーフ類
経営面積(坪)		600 (300坪×2棟)	300 (300坪×1棟)
労働力 (人)	経営主	1	1
	パート	2.0	2.5
	計	3.0	3.5
出荷量(kg)		29,590	8,122
単価(円/kg)		1,000	2,600
粗収益(千円)		29,590	21,116
種苗費(千円)		1,386	433
肥料費		312	156
農薬費		71	36
諸材料費		776	1,331
修繕費		400	200
燃油代		1,620	810
電気代		1,323	662
出荷経費		6,003	3,002
減価償却費		8,429	4,214
人件費		4,170	5,212
経営費(千円)		24,490	16,056
所得(千円)		5,100	5,060

3. 活用等

新規参入する場合でも、ホテル・レストラン等の売り込み先を確保することで、この経営モデルの実証が可能です。

関連情報

- この成果は100坪ハウスの実証データから、300坪（10.8m×92m）ハウスを想定して試算した結果です。
- 2重フィルムハウスを利用することにより、従来の1重フィルムハウスに比べ暖房費を半分程度に抑えることができました。
- 経営モデルのリーフレットは農林総合研究所で入手できます。

農林総合研究所 施設園芸部 Tel. 0172-52-2510 E-mail nou_souken@aomori-itc.or.jp
工業総合研究所 電子情報技術部、新エネルギー技術部
弘前地域研究所 食品素材開発部

Aomori Prefectural Industrial Technology Research Center
地方独立行政法人 青森県産業技術センター

